

●新年、おめでとうございます！

2020年の元旦、日本では推定2,497人の赤ちゃんが生まれるだろうと、ユニセフ(国連児童基金)は述べました。日本で生まれる赤ちゃんは、世界で生まれる推定39万2,078人の赤ちゃんの約0.6%を占めます。「新しい1年そして新しい10年の始まりは、私たちの将来だけでなく、私たちの後に続く子どもたちの未来への希望と抱負を考える機会です」とユニセフ事務局長のヘンリエッタ・フォアは述べました。「毎年1月にカレンダーが新しくなると、自分の人生の旅路を歩き始める子どもたちひとりひとりがもっている可能性や潜在力に思いを巡らすのです」

●30年で子どもの生存率が著しく上昇

ユニセフは毎年1月、元旦に世界で生まれた赤ちゃんを祝福しています。しかし、世界の何百万人もの赤ちゃんにとって、誕生の日は全く祝福される状況ではありません。2018年、生後1カ月で亡くなった新生児は250万人。このうち約3分の1が、人生の最初の日に亡くなり、そのほとんどは、早産、出産時の合併症、敗血症といった感染症など、予防可能な原因でした。さらに、毎年の死産数は250万人以上に上ります。



© UNICEF/UN0269298/Berkovich AFP-Services

2019年1月1日 10時19分に生まれた中国の赤ちゃん。

(2019年1月撮影)

世界では、過去30年にわたって子どもの生存率が著しく上昇し、5歳未満で亡くなる子どもの数は半数以下になりました。しかし新生児を取り巻く状況の改善は遅いままです。生後1カ月で死亡する赤ちゃんは、2018年には5歳未満児死亡数の47%を占め、1990年の40%から増加しています。

●すべての赤ちゃんが安全な環境で誕生できるように



© UNICEF/UNI224653/AIGhabri

未熟児で生まれ、新生児集中治療室で治療を受けるイエメンの赤ちゃん。(2019年10月撮影)

ユニセフの「Every Child Alive」キャンペーンでは、保健従事者への支援を早急に行うことを呼びかけています。彼らが適切な訓練を受け、適切な医薬品を使用できるようにすることで、すべての母親と新生児が、妊娠中、出産時、誕生時の合併症を予防し、治療を受けられるようにするためです。

「あまりにも多くの母親と新生児が、訓練を受け、適切な資材や医薬品を使用できる助産師や看護師によるケアや介助を受けられず、その結果は壊滅的です」とフォアは述べました。「すべての赤ちゃんが、安全な環境の中で誕生できれば、何百万人もの赤ちゃんが生まれた日を生き延び、10年そしてその先を生きることができるよう」(日本ユニセフ協会HP世界のニュースより)

2020年もユニセフは
すべての子どもの権利が実現される世界をめざして
(A world where the rights of every child are realized)
活動をおこなっていきます

山口県ユニセフ協会もユニセフ活動の支援に
取り組んで参ります。

引き続きご支援・ご協力をお願いします



左: © UNICEF/UN0188829/Njokiktjen VII Photo

右: © UNICEF/UN0336368/Babajanyan VII Photo

2018年2月にモンゴルで生まれたシュガーマーちゃんの生後(左)とその1年後(右)。

●「ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金」へのご協力、ありがとうございました！

ハンド・イン・ハンド募金とは？！

“手に手をとって”を意味する「ユニセフ ハンド・イン・ハンド」募金は、事前に登録をすれば誰もがユニセフ・ボランティアとして参加できること。1人ひとりの力を合わせ大きな力にする募金活動で、すでに42年の歴史を持った取り組みです。

●山口県ユニセフ協会も県内各地で「ハンド・イン・ハンド募金」活動をおこないました。



■萩市JA7ファーマーズマーケット「ふれあいらんど萩」店頭
・地域ボランティアの皆さんにも応援いただきました。



■宇部市コースこと宇部店店頭
・帰省中のボランティアの大学生の娘さんも参加してくれました。



■山口市コースこといづみ店店頭①
・事務局メンバーで頑張りました。



■岩国市JR岩国駅コンコース
・地元のちびっ子も応援に。一生懸命声掛けしてくれました。



■周南市コースこととくやま店店頭
・事務局の2人で。とても寒い一日でした・・・



■山口市コースこといづみ店店頭
・ボーイスカウト主催の「ハンド・イン・ハンド」に、応援として事務局2名が参加しました。



■山口県健康福祉センター
・山口県消費者大会会場に「ハンド・イン・ハンド」のコーナー設置。たくさんの方に協力いただきました。



■下関市コースこと新下関店店頭
・地元のボランティア親子に下関市立大からも学生さんの応援がありました。



■柳井市バタフライアリーナ
・例年勤労感謝の日で開催される「柳井まつり」に、前年に引き続き参加し、募金活動もおこないました。

どの会場でも、たくさんの方々から、「世界の子どもの笑顔につながる」募金と暖かいお気持ちをいただきました。「誠にありがとうございました！」

●「ユニセフ ハンド・イン・ハンド」募金のキャンペーン期間は例年11月～12月。

- ・一年近く先のことになりますが、今年は募金する側は勿論、募金を呼び掛ける側になってみてください。
- ・お申し込みはH pで「ハンド・イン・ハンド」でご検索ください。）
- ・またお問い合わせはお気軽に山口県ユニセフ協会まで（連絡先は4ページをご覧ください。）

●「ユニセフクリスマスパーティー」を開催しました。

楽しく世界の子どもたちのことやユニセフのことを学べる場を作ろうということで、「ユニセフクリスマスパーティー」を開催しました。

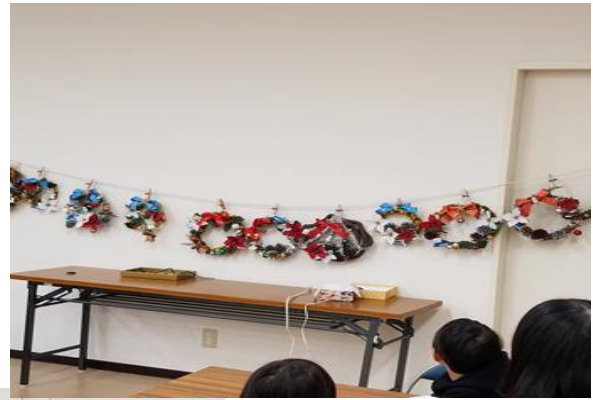
『ユニセフと地球のともだち(DVD)』をみんなで鑑賞した後は、メインイベントの親子によるクリスマスリース作り。そしてユニセフが進める手洗いダンスをみんなで踊り、実際に手洗いをしてから、ケーキ&ティで茶話会をおこないました。はじめてのオリジナルイベントでしたが、ご参加いただいた皆さんからは「楽しく学べた」との評価をいただきました。今後はこのような参加型イベントにも取り組みを強めていきたいと考えています。

●なお、皆さんからいただいた参加費の一部は、ユニセフへ募金いたしました。



■親子でつくるクリスマスリースの様子

- ・事務局やボランティアで事前に用意したリース台や飾り・リボンを組み合わせてオリジナルのクリスマスリースを作ってもらいました。
- ・子どもたちも見守る親御さんも真剣にそのもの。



■出来上がったリースの歌々

- ・それぞれが作った自慢のリースと一緒に飾ってみました。
- ・コンテストもおこない盛り上がりました。



■参加者の集合写真子

- ・はじめてのイベント開催で参加者数は予定にとどきませんでした。参加者の皆さんからは「楽しかった！」の声をいただきました。
- ・オリジナルリースは皆さん持ち帰って自宅に飾るとのこと。サンタさんは来てくれたんでしょうか？

■参加者作品のひとつ

- ・リース台は事務局長が手作りで用意。
- ・飾りも多くはボランティアスタッフの手づくりです。
- ・材料はそんなに変わらないのに、個性あふれる作品はどれも素敵でした。



■ボランティアスタッフによる手洗いダンス

- ・はじめての人前でのお披露目。せっけんの泡を模した被り物も用意して頑張りました。

「世界手洗いダンス」って何？

今、世界で、5歳になる前に亡くなる子どもは年間540万人。その多くは、予防可能な病気などが原因です。

せっけんを使った正しい手洗いの普及によって、世界で約100万人の命が守れるとされています。

「世界手洗いダンス」は、正しい手洗いを楽しみながら学べるダンスです。

ユニセフでは、この正しい手洗いの普及を進めています。

●山口県ユニセフ協会では**出前授業への講師派遣も積極的に受け付けて**います。

特に就学前児童や小学低学年の子どもたちにはこの「手洗いダンス」をはじめ、楽しく学べるメニューを用意しています。お申込みやお問い合わせは、お気軽に協会へご連絡ください。

今からの予定

学校やサークルでの出前授業、イベント会場でのユニセフコーナー出展、お気軽にお声かけ下さい。今年もどこかで皆さんとお会いできることを楽しみに活動していきます。出前授業は「世界の国について知ろう」「ブルキナファソ視察報告」「ユニセフ手洗いダンス」「インドの紙袋作り」「ユニセフってなあに」があります。詳しくはユニセフ協会まで!!

● ユニセフカレンダー募金 今年もあります。

銀座の老舗文具店伊東屋様のご厚意で販売しきれなかったカレンダーを日本ユニセフ協会へ寄付していただいています。カレンダーはユニセフ募金に役立てられています。昨年に続き山口県ユニセフ協会でもカレンダー募金を開催します。

- 日時 : 2月29日(土)まで(開催予定)
- 場所 : コーポやまぐちここといずみ店サービスカウンター(山口市泉町150-1)
こことどうもん店(山口市道場門前1-1-18)
ここと字部店(宇部市恩田町2丁目2-15)
ここと新下関店(下関市秋根西町2丁目5-1)

募金していただき、お好きなカレンダーをお選びください。
素敵なおカレンダーばかりですので是非お立ち寄りください。
ご協力よろしくお願いいたします。

ご協力いただいた募金は後日、日本ユニセフ協会へ送らせていただきます。



昨年の様子、お雛様飾りと一緒に展示していただきました!

● 第45回生協まつりに「ユニセフ紹介コーナー」出展します!

- 日時 : 3月28日(土)・29日(日)
…28日は9時30分～17時 29日は9時30分～16時
- 場所 : 阿知須きららドーム
- 企画 : ユニセフ紹介パネル展、ユニセフ関連グッズ展示、ユニセフクイズ、SDGsIL-レット・平和の折り紙



第43回生協まつり「ユニセフ紹介コーナー」の様子

会費によって支援いただく方法です。
現在山口県でも多くの賛助会員の方にご協力いただいています。

山口から世界の子どもたちを支えましょう!

種類	対象	賛助会費
一般賛助会員	個人	一口 5,000円
学生賛助会員	学生(18歳以上)	一口 2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	一口 100,000円

賛助会員期間は、入会日より1年間です。賛助会費は寄付金控除の対象になります。
一般・学生賛助会員は個人名でのお申込みに限らせていただきます。

あなたの好きなことをユニセフ活動にいかしてみませんか?

- ♪ 絵や文章を書くのが好きな方
- ♪ 子どもが好きな方
- ♪ 手作りするのが好きな方
- ♪ パソコンが得意な方
- ♪ 学習会の組み立てを一緒に考えてくれる方
などなど



山口県ユニセフ協会

〒753-0083
山口市後河原210番地
TEL083-902-2266
FAX083-928-5416
E-mail: info@unicef-yamaguchi.jp
URL: https://www.unicef-yamaguchi.jp

県協会地図



ボランティア登録、資料請求、その他お問い合わせ等は、事務局までご連絡ください。

また、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

受付日 : 月・火・水・木・金
受付時間 : 10:00~16:00
山口県教育会館の裏になります。